

高齢者おたすけ隊 地域振興表彰

2月25日、北薩地域振興局で北薩摩の地域振興表彰の表彰式が行われ、白男川区高齢者おたすけ隊が受賞しました。同隊は、困っている高齢者を支援して住みやすい地域にしたいと平成23年6月に結成され、現在は11人で活動。草刈りや粗大ごみの処分、家財道具の整理などを行っています。隊長の堂園義隆さんは「若年層の入隊もあったのでこれからも頑張りたいです」と話しました。



事務局長の井川浩太郎さん（左）、隊長の堂園さん
10年以上にわたる地域活性化への寄与が評価されました

マイナビ仙台 春季キャンプ練習

2月15日～26日、サッカー女子プロのマイナビ仙台レディースが、北薩広域公園のかぐや姫グラウンドでキャンプを行いました。町からは地元の黒豚やイチゴ、トマト、さつま揚げを贈呈。練習試合では、全日本高校女子選手権で優勝した神村学園高等部とも対戦しました。3月のリーグ再開に向け、キャプテンの浜田遥選手は「目標は優勝。戦術を確認し、まず初戦を勝ちたいです」と話しました。



水色のユニフォームのマイナビ仙台レディースと
白色のユニフォームの神村学園高等部

東郷建設 子ども用車いすを寄贈

3月4日、株式会社東郷建設が子ども用車いす1台と図書25冊を寄贈しました。車いすは4月に開校した鶴田小学校に、図書は町内全ての小学校などに置かれます。代表取締役の山之口博志さんは「地域に根差した仕事をしているので、寄贈することで地域に貢献できればと思います」と話しました。



山之口さん（左）と図書を受け取った原園教育長



伝統的なオイモ柄のベストや帽子、伝統楽器のコムズ

鶴田小 キルギスの文化を学ぶ

3月17日、鶴田小学校5年生が、キルギスでの青年海外協力隊の経験を持つ同校の園中秋葉先生からキルギス文化を学びました。現地に旅行中の元隊員がビデオ通話でキルギスを紹介し、同国をもっと知ってもらうための意見を児童が提案。伝統的なオイモ柄のネクタイやスカーフを日本で販売するなどの意見が出ました。植村星南さんは「多くの人にオイモ柄を知ってほしいです」と話しました。

交通安全母の会 川内野さん受賞

3月18日、町交通安全母の会の川内野かよ子さんが、県交通安全母の会活動功労者表彰の受賞報告を行いました。川内野さんは同会の会長を15年務め、交通安全の呼び掛けや街頭立哨などの長年の活動が認められ受賞。川内野さんは「さつま町で悲惨な交通事故が起きないように、これからも会員の皆さんと協力して交通安全を呼び掛けたいです」と話しました。



役場を訪れた川内野さん（左）、上野町長
これからも交通安全の呼び掛けを続けていきます

我が家ルールを大切に 農業経営

3月17日、県さつま庁舎で家族経営協定調印式が行われました。同協定は、経営方針や働きやすい環境などを家族間の話し合いで取り決め、意欲的な農業につなげるためのもの。町、農業委員会、県、農家の4者が調印し、新規で3家族、見直しで1家族が協定を締結しました。畜産農家の池江新吾さんは「家族での協議を大切に、規模拡大に向けて取り組みたいです」と話しました。



農業経営に携わる家族全員が協定書に調印しました

町の安全を守る消防団 国交大臣賞

3月18日、町消防団が水防功労者国土交通大臣表彰の受賞報告を行いました。令和3年7月豪雨での人命救助や川内川流域の河川の警戒巡視、避難誘導などの活動が被害の軽減につながり、住民の安全確保に大きく貢献したことから受賞。団長の丸尾省吾さんは「団員の献身的な働きで人的被害を出すことなく活動ができました。これからも訓練を重ね、災害に備えたいです」と話しました。



役場を訪れた丸尾さん（左）、上野町長
令和3年7月豪雨で団員332人が水防活動に従事しました



前列左から、土屋さん、米盛さん、原田さん、
時吉さん、谷口さん、造々さん

国防の使命を誓う 自衛隊入隊者

3月16日、町自衛隊入隊者壮行会が行われました。今年は本町から陸上自衛隊国分駐屯地に6人が入隊し、代表で谷口大翔さんが「さつま町の代表であることを誇りに、一社会人として立派な自衛官となれるよう頑張っていきます」と決意を述べました。入隊者の土屋兼紳さん、米盛堅政さん、原田恭輔さん、時吉拳至郎さん、造々竣介さんも、それぞれの誇りと期待を胸に任地へ向かいます。